

第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	3:安全・安心・快適に暮らせるまち
施策の大綱【政策】	4:公共交通の充実したまちづくり
分野	31:公共交通
具体的な施策【施策】	67:公共交通体系の整備
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の特性や移動ニーズに応じた公共交通サービスの提供を進めます。 ・ コンパクトな市街地形成、都市機能の誘導を図るとともに、それぞれの地域拠点の機能維持・強化を図るような、利便性の高い公共交通サービスの提供を進めます。 ・ 地域づくりの土台となる、持続可能な公共交通体系を構築するため、地域をはじめとする関係者が、一体となって公共交通を支える意識の啓発を図ります。

1	担当課かい名	総務企画部 企画政策課
	現状（進捗状況）	令和2年10月に、地域要望や八代市地域公共交通会議での意見等を踏まえ、第2次八代市総合計画に掲げる公共交通の充実したまちづくりを推進するため、八代市地域公共交通計画を策定した。この計画に基づき、乗合タクシーの新規路線の導入や、停留所の新設など交通空白地域への対応を行うとともに、路線バスの延伸及び鉄道との関係向上のためのダイヤの見直しを実施した。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本市の公共交通は、九州新幹線、JR鹿児島本線、肥薩線、肥薩おれんじ鉄道、路線バス、乗合タクシーなどがあるが、自家用車の利用普及や人口減少などにより、利用者数は年々減少傾向にあり、さらに令和2年からの新型コロナウイルス感染症の拡大によりその傾向に拍車がかかっている。 ・ 一方で、高齢者の運転免許返納は増加しており、交通手段をもたない方への移動手段の確保など、公共交通の果たす役割は大きくなっている。 ・ また、令和2年7月豪雨により被災したJR肥薩線の早期の復旧が求められる。
	第2期計画の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の特性や移動ニーズに応じて、MaaSなど新たなモビリティサービスの導入を含めた公共交通サービスの提供を進めるとともに、適宜サービスの適正化を図る。 ・ 公共交通の利用促進を図るとともに、新技術の積極的な導入による移動利便性の向上に努める。 ・ 持続可能な公共交通体系を構築・維持していくために、市民（地域）、事業者、行政が一体となって取り組む体制づくりに努める。
備考・コメント		

2	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
備考・コメント		

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
備考・コメント		